



2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年8月11日

上場会社名 株式会社FUJIIJAPAN
 コード番号 1449 URL <https://www.fujijapan.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 札
 (氏名) 佐々木 忠幸
 (氏名) 樋口 俊一
 TEL 011-299-5361

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	690	3.5	6	81.4	11	68.8	8	68.1
2019年12月期第2四半期	715		35		37		25	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	3.84	
2019年12月期第2四半期	12.03	

(注) 1. 2018年12月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

2. 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	529	301	56.9
2019年12月期	572	293	51.1

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 301百万円 2019年12月期 293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		0.00	0.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,522	1.0	47	40.4	54	37.8	36	40.5	16.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	2,130,000 株	2019年12月期	2,130,000 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	株	2019年12月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	2,130,000 株	2019年12月期2Q	2,130,000 株

(注)当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税増税による消費者心理の冷え込みや新型コロナウイルス感染の第二波襲来の脅威増大により、景気の先行きは不透明な状況となっております。

リフォーム業界におきましては、リフォーム工事の事業者数は年々増加しており、専門会社以外のハウスメーカーや住宅設備メーカー、ホームセンターなど多岐にわたっております。

このような経済環境の中、当社では、北海道・東北エリアの北ブロックと関東エリアの関東ブロックに分け、この二本柱による営業展開を図り、営業活動を行ってまいりました。また、先々を見据えたエリア拡大のための基礎を固めるべく積極的に採用活動を行い、人材育成及び営業力強化に注力した体制作りを継続してまいりました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済及び雇用等に対する先行き不安から、関東エリアを中心に消費マインドの低下が顕著に見られました。

これらにより当第2四半期累計期間における売上高は690,764千円（前年同期比3.5%減）、営業利益は6,615千円（前年同期比81.4%減）、経常利益は11,776千円（前年同期比68.8%減）、四半期純利益は8,182千円（前年同期比68.1%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(外壁リフォーム工事)

外壁リフォーム工事については、営業部の人員増加及び人材育成及び新規出店に伴い販売費及び一般管理費が増加し、売上高は611,853千円（前年同期比3.8%減）、セグメント利益は59,452千円（前年同期比30.7%減）となりました。

なお、地域ごとの売上高の内訳としては、北海道地区（1支店）344,605千円（前年同期比14.4%増）、東北地区（1支店）78,333千円（前年同期比38.5%減）、関東地区（3支店）188,914千円（前年同期比8.7%減）となりました。

(その他リフォーム工事)

その他リフォーム工事については、法人向け工事の受注数が増加したため、売上高は40,773千円（前年同期比66.8%増）、セグメント利益は1,845千円（前年同期はセグメント損失194千円）となりました。

(材料販売)

材料販売については、受注数が大幅に減少し、売上高は38,136千円（前年同期比31.2%減）、セグメント利益は5,079千円（前年同期比30.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は343,713千円となり、前事業年度末と比べ44,951千円減少いたしました。これは主に棚卸資産が18,477千円増加した一方で、現金及び預金が29,966千円減少、完成工事未収入金が31,984千円減少したことによるものであります。固定資産は185,373千円となり、前事業年度末と比べ1,191千円増加いたしました。これは主に保険積立金が1,359千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は529,087千円となり、前事業年度末と比べ43,760千円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は178,873千円となり、前事業年度末と比べ38,989千円減少いたしました。これは主に工事未払金が11,363千円増加した一方で、短期借入金20,000千円減少、未払金が5,620千円減少、未払費用が10,812千円減少、未払法人税等が10,536千円減少したことによるものであります。固定負債は49,022千円となり、前事業年度末と比べ12,953千円減少いたしました。これは主に長期借入金が6,342千円減少、預り敷金保証金が6,035千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は227,895千円となり、前事業年度末と比べ51,942千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は301,191千円となり、前事業年度末と比べ8,182千円増加いたしました。これは四半期純利益8,182千円を計上したことにより、利益剰余金が同額増加したためであります。

この結果、自己資本比率は56.9%（前事業年度末は51.1%）となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期累計期間における営業活動の結果獲得した資金は6,439千円（前年同期比29.4%増）となりました。

これは主として、税引前四半期純利益11,776千円に対し、売上債権の減少額30,755千円、仕入債務の増加額13,215千円、減価償却費5,808千円の資金増加要因があった一方で、たな卸資産の増加額18,477千円、未払費用の減少額10,812千円、法人税等の支払額14,866千円の資金減少要因があったことによるものです。

投資活動の結果使用した資金は、6,495千円（前年同期比26.0%増）となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出4,417千円、保険積立金の積立による支出1,359千円の資金減少要因があったことによるものです。

財務活動の結果使用した資金は、29,910千円（前年同期比196.2%増）となりました。

これは、短期借入金の返済による支出20,000千円、長期借入金の返済による支出9,342千円の資金減少要因があったことによるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、144,220千円となりました。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2020年2月13日公表の「2019年12月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」から修正しております。詳細につきましては、2020年8月11日に公表しました「2020年12月期 第2四半期累計業績予想と実績値との差異及び2020年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	174,187	144,220
完成工事未収入金	156,392	124,408
売掛金	4,317	5,546
原材料及び貯蔵品	32,163	28,460
未成工事支出金	11,725	33,905
前払費用	6,501	5,937
その他	3,378	1,235
流動資産合計	388,665	343,713
固定資産		
有形固定資産		
建物	42,582	43,282
減価償却累計額	△16,511	△17,227
建物(純額)	26,071	26,055
車両運搬具	1,550	1,810
減価償却累計額	△1,049	△1,364
車両運搬具(純額)	500	445
工具、器具及び備品	32,601	36,059
減価償却累計額	△19,436	△22,621
工具、器具及び備品(純額)	13,165	13,437
土地	57,821	57,821
リース資産	10,814	10,814
減価償却累計額	△581	△1,163
リース資産(純額)	10,232	9,650
有形固定資産合計	107,789	107,409
無形固定資産		
ソフトウェア	2,527	1,516
無形固定資産合計	2,527	1,516
投資その他の資産		
敷金及び保証金	60,804	61,364
保険積立金	6,804	8,164
長期前払費用	190	117
繰延税金資産	4,814	5,550
その他	1,250	1,250
投資その他の資産合計	73,864	76,447
固定資産合計	184,182	185,373
資産合計	572,847	529,087

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,564	4,415
工事未払金	87,175	98,539
短期借入金	20,000	-
1年内返済予定の長期借入金	14,184	11,184
リース債務	1,140	1,147
未払金	12,356	6,736
未払費用	41,495	30,682
未払法人税等	14,566	4,030
未成工事受入金	1,369	942
前受金	2,514	2,800
預り金	1,745	3,875
完成工事補償引当金	4,230	4,390
損害賠償引当金	2,149	-
前受収益	314	314
その他	12,057	9,814
流動負債合計	217,862	178,873
固定負債		
長期借入金	16,084	9,742
リース債務	9,004	8,428
預り敷金保証金	36,888	30,852
固定負債合計	61,976	49,022
負債合計	279,838	227,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	65,424	65,424
資本剰余金		
資本準備金	20,424	20,424
資本剰余金合計	20,424	20,424
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	207,161	215,343
利益剰余金合計	207,161	215,343
株主資本合計	293,009	301,191
純資産合計	293,009	301,191
負債純資産合計	572,847	529,087

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高		
完成工事高	660,190	652,627
材料売上高	55,424	38,136
売上高合計	715,614	690,764
売上原価		
完成工事原価	374,130	371,403
材料売上原価	46,057	31,322
売上原価合計	420,188	402,725
売上総利益	295,425	288,039
販売費及び一般管理費	259,784	281,423
営業利益	35,641	6,615
営業外収益		
受取利息	439	436
貸貸収入	1,713	1,713
受取保険金	315	2,527
その他	349	1,024
営業外収益合計	2,817	5,701
営業外費用		
支払利息	333	200
貸貸収入原価	225	218
その他	111	121
営業外費用合計	669	541
経常利益	37,789	11,776
特別利益		
保険解約益	1,179	-
特別利益合計	1,179	-
税引前四半期純利益	38,969	11,776
法人税等	13,335	3,594
四半期純利益	25,634	8,182

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	38,969	11,776
減価償却費	3,770	5,808
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	90	160
損害賠償引当金の増減額 (△は減少)	—	△2,149
受取利息	△439	△436
支払利息	333	200
保険解約益	△1,179	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△51,249	30,755
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△16	△18,477
敷金及び保証金の増減額 (△は増加)	△445	△559
仕入債務の増減額 (△は減少)	30,002	13,215
未払金の増減額 (△は減少)	△2,844	△5,620
未払費用の増減額 (△は減少)	3,737	△10,812
前受金の増減額 (△は減少)	—	286
預り敷金保証金の増減額 (△は減少)	△604	△6,035
その他の増減額 (△は減少)	△669	2,957
小計	19,454	21,070
利息の受取額	439	436
利息の支払額	△270	△200
法人税等の支払額	△14,646	△14,866
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,976	6,439
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,916	△4,417
貸付けによる支出	—	△1,006
貸付金の回収による収入	383	288
保険積立金の積立による支出	△1,421	△1,359
保険積立金の解約による収入	2,799	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,154	△6,495
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△20,000
長期借入金の返済による支出	△10,098	△9,342
リース債務の返済による支出	—	△568
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,098	△29,910
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,275	△29,966
現金及び現金同等物の期首残高	136,748	174,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	126,472	144,220

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性の判定・評価にあたり、当社の事業活動における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響については、感染者数再増加により収束時期等を正確に予測することは困難な状況ではありますが、当事業年度末まで続くと仮定を置き、会計上の見積りを行っております。なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	外壁リフォー ム工事	その他リフォー ム工事	材料販売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	635,743	24,446	55,424	715,614	—	715,614
セグメント間の内部売 上高又は振替高	3,212	—	—	3,212	△3,212	—
計	638,955	24,446	55,424	718,827	△3,212	715,614
セグメント利益又は損失 (△)	85,751	△194	7,296	92,853	△57,211	35,641

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△57,211千円であり
ます。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	外壁リフォー ム工事	その他リフォー ム工事	材料販売	計		
売上高						
外部顧客への売上高	611,853	40,773	38,136	690,764	—	690,764
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1,797	—	—	1,797	△1,797	—
計	613,651	40,773	38,136	692,562	△1,797	690,764
セグメント利益	59,452	1,845	5,079	66,377	△59,761	6,615

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△59,761千円であり
ます。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。